

3 DXによる安全・安心で暮らしやすいとちぎづくり

◎：新規 ○：一部新規

DXの推進

デジタル技術を活用し、便利でスピーディーな県民サービスの提供を実現するほか、防災・交通など幅広い分野において先端技術の社会実装に取り組んでいく

◎ ① とちぎDX体制強化事業費

6,953万円 (総合政策部)
(経営管理部)

◎ これまでの市町のニーズに応じたアドバイザー派遣の取組に加え、新たに「4ない窓口」(書かない・待たない・回らない・行かない)の実現に向けた市町窓口DXの取組を伴走支援

◎ ② 保健・医療DX推進事業費

1億2,259万円 (保健福祉部)

▷ 指定難病や小児慢性特定疾病の医療費助成支給認定手続に要する負担軽減を図るため、電子申請システムを導入(来庁での窓口申請にも対応できるよう、各健康福祉センター等にタブレットを配備)
〔R7年度〕小児慢性特定疾病について先行導入 → 〔R8年度〕指定難病にも拡充

◎ ③ 空き家対策総合プラットフォーム構築事業費

5,202万円 (県土整備部)

▷ 防災力強化と移住促進につなげるため、県内の空き家情報を集約した「県版空き家バンク」や空き家活用診断チャート等の機能を搭載したポータルサイトを開設(R7年度中に運用開始)



○ ④ インフラDX推進事業費

15億8,884万円 (県土整備部)

ア ◎三次元点群データ※の利活用促進

▷ 三次元点群データを用いて視覚的でわかりやすい災害リスク情報を発信するほか、民間企業等での利活用に向けたオープンデータ基盤を整備(R9年度に運用開始)

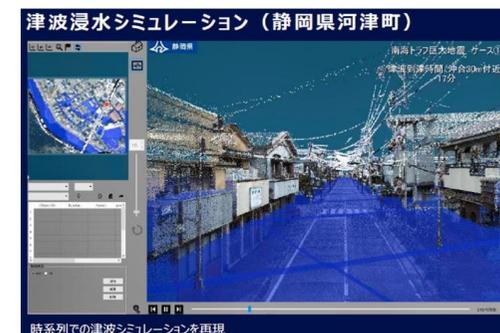
※三次元点群データ…位置情報や色情報を持った点の集まりのことで、地形等を立体的に見せることが可能

イ 無人運転移動サービスの導入支援

▷ 県内バス路線における本格実装に向けて交通事業者等が行う実証運行などの取組を支援

▼三次元点群データのイメージ

(災害リスク情報の可視化) 出典：静岡県HP



3 DXによる安全・安心で暮らしやすいとちぎづくり

◎：新規 ○：一部新規

災害対応力の強化

令和6年能登半島地震で明らかになった課題等を踏まえ、孤立可能性集落対策等に取り組むとともに、次世代を担う防災人材の育成を図っていく

◎ ⑤ 孤立可能性集落緊急対策事業費 1,948万円（危機管理防災局）

- ▶ 孤立可能性集落に防災士を派遣し、地区防災計画の策定を支援
- ▶ 孤立発生時の迅速な救助に必要なヘリ臨時離発着場の整備や情報通信手段の確保等を行う市町の取組に対して助成

◎ ⑥ 地震被害想定調査等事業費 6,272万円（危機管理防災局）

- ▶ 栃木県地域防災計画の見直しなど、今後の地震防災対策に活用するため、建物・人的被害等の予測調査や学識経験者等による検討委員会を実施（～R8年度）

○ ⑦ とちぎ防災人材育成事業費 220万円（危機管理防災局）

- ◎小・中学生を対象に防災教育講座を実施し、受講者を「とちぎジュニア防災隊員」として認定
- ◎地域防災の今後の方向性を検討するため、幅広い関係者で構成する「とちぎ防災検討会（仮称）」を設置

令和6年度2月補正予算における関連事業

1. 避難所生活環境緊急改善事業費 4,616万円（危機管理防災局）

- ▶ 避難生活時の快適なトイレ環境を確保するため、災害派遣用トイレカーを1台導入
- ▶ 避難所における就寝環境の改善に向け、パーティションや簡易ベッドを追加で備蓄



▲災害派遣用トイレカー（大阪府交野市）

2. 災害時歯科保健医療提供体制整備事業費 1,900万円（保健福祉部）

- ▶ 災害時に避難所等で適切な歯科医療や口腔ケアを提供できるよう、栃木県歯科医師会に対し、必要な設備整備を支援

3 DXによる安全・安心で暮らしやすいとちぎづくり

◎：新規 ○：一部新規

健康で安心な暮らしの確保

県民誰もが健康で安心して暮らせる社会づくりを加速するため、県立病院の今後のあり方や、カスタマーハラスメント対策など、喫緊の諸課題の解決に取り組んでいく

◎ ⑧ 県立病院あり方検討事業費

100万円（保健福祉部）

▶ 地域医療構想等を踏まえた医療提供体制の確保等に向け、県立病院のあり方を検討するための有識者会議を設置

がんセンター	リハビリテーションセンター	岡本台病院
 <p>高度医療を提供するがん専門病院、都道府県がん診療連携拠点病院</p>	 <p>ライフステージに応じた専門的なリハビリを提供する医療と福祉の総合施設</p>	 <p>高度で専門的な医療を担う地域精神医療の基幹病院</p>

◎ ⑨ 救急医療提供体制検討事業費

79万円（保健福祉部）

▶ 本県の救急医療の方向性や必要な対策を検討するため、県内医療関係者等による検討委員会を開催

◎ ⑩ 高齢者等のオーラルフレイル対策支援事業費

2,988万円（保健福祉部）

▶ 高齢者等のオーラルフレイル※予防や適切な歯科医療につなげるため、歯科の受診データを分析し、今後の対策に活用

※オーラルフレイル…食べこぼしなどの歯と口腔の機能の衰え

◎ ⑪ カスタマーハラスメント防止対策促進事業費

160万円（産業労働観光部）

▶ R7年度中の条例制定に向け、アンケート調査や理解促進セミナーを実施するほか、有識者会議において具体的な防止対策を検討